

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年6月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アリゾナ州立大学 現地言語: Arizona State University
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	コミュニケーション学部
帰国年月日	2014年6月24日
明治大学卒業予定年	2015年3月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬
学生数	72,254 人
創立年	1885 年
特徴	アメリカで最も入学者数が多い大学

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	23,227	2,322,700 円	
宿舍費	6,000	600,000 円	
食費	3,000	300,000 円	
図書費	5,000	500,000 円	
学用品費	50	5,000 円	
教養娯楽費	750	75,000 円	
被服費	800	80,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,628	162,800 円	形態:
渡航旅費	3,500	350,000 円	
雑費	500	50,000 円	
合計	44,455	4,445,500 円	

### 渡航関連

渡航経路: 成田→ロサンゼルス→フェニックス

渡航費用

チケットの種類 正規航空券(エコノミークラス)

往路 21万円

復路 14万円

合計 35万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

京王観光

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類:F-1

ビザ取得方法: 大使館

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

ビザ取得は時間がかかるので、早めに取り掛かるといいと思います。

### 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

アパート

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 2 人)

3) 住居を探した方法:

エージェントに依頼した

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相部屋だったが、個人の部屋とバスルームがあり、プライベートの時間を保つことができた。寮ではなく学校から少し距離があったが、施設は寮に比べ充実していて満足している。ルームメイトはフレンドリーなボストン出身の方で、よく一緒にテレビでスポーツを見ていた。これから留学する人へのアドバイスとしては、学校内の施設(ジムや図書館)を夜遅くまで使えるし、友達に会うのも楽なので、学校からなるべく近いほうがいいと思う。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった  
 利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

今のところ特に大きな問題はありません。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

インターネットで地域の情報を収集した。少し物騒な地域もあるが、犯罪には巻き込まれなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、学校内ともに Wi-Fi が通っており、環境も良かった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートという口座を日本で登録し、その口座に日本で資金を振り込み、アメリカで使用した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

辞書、簡単な日本食(味噌汁、ごはん、ふりかけ等)

## 進路について

1) 進路

- 就職     進学     未定     その他：

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ, 記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elements Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences / human communication
履修期間	1セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Stacey Miner
授業内容	異人種、異民族、異文化間のコミュニケーションの向上のため、基本的な概念、原理、スキルを身に着ける。
試験・課題など	試験は筆記テスト。課題はグループプレゼンテーション、授業外でパートナーと話しエッセイを書くもの、オンラインディスカッションがある。
感想を自由記入	非常に興味深い。講義だけでなく、グループワークやカンパセーションアサイメントを通して、より深く文化の違いを学ぶことができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction Human Geography	人文地理学入門
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Sciences / School of Geographical Sciences and Urban Planning
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Scott Warren
授業内容	人文地理学の基礎を学ぶ。
試験・課題など	オンライン試験が 3 回ある。また、毎週教科書に沿って出題されるクイズがある。課外授業としてフィールドワークもある。
感想を自由記入	一番好きな授業。地図を駆使して行うフィールドワークで、留学先の土地をよく知ることができる。この分野についてもっと深く学びたいと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Latin/Salsa I		ラテン、サルサ1	
科目設置学部・研究科	Design and the arts / School of Dance		
履修期間	1 セメスター		
単位数			
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	スタジオ		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Deborah Kastner		
授業内容	現在の主要なラテンダンスを学ぶ。(サルサ、メレンゲ、バチャタ等		
試験・課題など	試験として 2 回ダンスのデモンストレーションがある。また、授業外のダンスクラブに行き、それについてのレポートも求められる。		
感想を自由記入	非常に楽しい。ダンスのスキルが上達し、またダンスを通じて友達を作ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intermediate Spanish		スペイン語中級	
科目設置学部・研究科	College of Liberal Arts and Science / School of International Letters and Cultures		
履修期間	1 セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Carmen Scales		
授業内容	スペイン語のスピーキング、リスニング、ライティング、リーディングを学ぶ。またスペイン語圏の文化も学ぶ。		
試験・課題など	オンラインテスト、会話テスト、作文が3回ずつ行われる。		
感想を自由記入	日本でスペイン語を履修していたため、授業のレベルが丁度よい。パートナーで会話することが多く、実践的であると感じる。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	留学について考え始め、大学や留学エージェントとコンタクトを取り、決断に至る
4月～7月	書類集め TOEFL 対策
8月～9月	留学先到着 授業開始(ESL プログラム)
10月～12月	学部に進むために必要な TOEFL スコア取得
2014年 1月～3月	春学期開始 学部授業開始 大学の野球チームに所属
4月～7月	期末テスト 留学終了
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	一つ目の理由は語学力の向上です。将来海外で働くことを視野に入れており、語学力の向上が必須だと考えたからです。二つ目は、アメリカの幅広く多彩な教育を受けるためです。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	とにかく自分のことを人前で表現したり、わからないことや不満があったら、臆せず人に伝えることが大切です。日本での授業から、わからないことや疑問があれば積極的に発言していくことが、アメリカでの留学の成功の大きなカギだと思います。
この留学先を選んだ理由	スペイン語話者人口が多いアリゾナで、スペイン語の学習にも繋がったからです。また、温暖な気候であり、アウトドアスポーツが盛んなことも大きな理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	キャンパスはとても広く、ジム、運動場、図書館、食堂等の施設も充実しています。学生は広々とした土地と温暖な気候の下、伸び伸びと生活しています。スポーツが強く、重要な試合には大勢の生徒が応援に駆け付け、街全体が盛り上がります。
寮の雰囲気	寮ではなく、学校外のアパートに滞在していますが、住人の多くはアリゾナ州立大学の生徒です。週末になるとホームパーティーやBBQなど行われ、にぎやかになります。
交友関係	交友関係にはかなり恵まれていると思います。前期では ESL コースをとっていたため、多くのインターナショナルスチューデントと友達になりました。特にブラジル人、サウジアラビア人と親しくなり、パーティーや旅行にも一緒に行きました。後期は野球チームに入ったため、チームメイトと時間を多く過ごしました。全員アメリカ人の学生ですが、フレンドリーで兄弟のような存在です。
学習内容・勉強について	私はコミュニケーションを専攻しています。授業のスタイルは日本以上にアクティブで主体的でやりがいがあります。クラスでは生徒同士で盛んに議論を交わし、すべてのクラスで課外活動(インタビューやフィールドワーク)を求められました。授業についていけないときはクラスメイトや教授に尋ねたり、授業を録音するなどしています。
課題・試験について	試験や課題はエッセイやグループでのプレゼンテーション、筆記試験など様々です。ライティングが苦手なのでエッセイには苦勞していますが、校内のライティングセンターや教授のオフィスアワーを利用するなどして克服しています。
大学外の活動について	大学の野球チームに所属し、週に4回ほど活動しています。
ある平日のスケジュール	8時:起床 9時~13時15分:授業 13時30分~14時30分:昼食 15時~18時:自由時間、勉強 18時~21時30分:クラブ活動(火、木) 22時~:夕食 0時:就寝
ある休日のスケジュール	8時30分:起床 9時~18時:クラブ活動、チームメイトと夕食 19時~0時:勉強 0時:就寝
留学を志す人へ	”言葉よりも気持ち！いかに自分の感情を表現できるか” これが私のメッセージです。日本語の中で育った私たちが、英語をうまく話せないのはあたりまえです。多少の文法の間違えなど気にせず、どんどん思ったことを海外の人に伝えていくことが、海外生活を楽しくする秘訣だと思います。